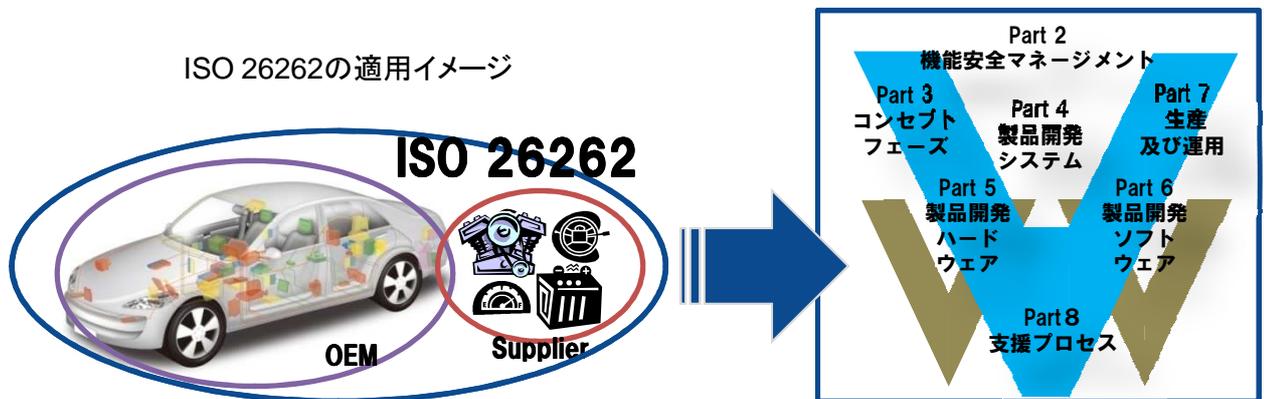


# 機能安全 トレーニング

## JARIの機能安全トレーニングの特徴

- 英国MIRA社の機能安全トレーニングコンテンツをベースに、日本の機能安全エキスパートによるレビューを受けた教材を使用
- JARIが推進するオールジャパン活動のアウトプットを活用
- 開発経験豊富な講師による現場視点を重視した日本語での講義
- 欧州カンファレンス参加により得られた欧州メーカーの情報を随所に展開
- SPICE活動をベースにしたプロセスの重要性を強く意識した内容



### JARIの推進するオールジャパン活動とは？

- 2011年にISO 26262運営委員会を設置し、関係諸団体と連携しながらOEM-Supplier間のコーディネーション活動を開始
- 規格の共通解釈や各社の共通見解を決めるための共同WGを設置し、議論を実施中



オールジャパン活動の概観

| コース名称       |                 | 時間  | 概要   |
|-------------|-----------------|-----|--|
| 機能安全概要コース   | 一般技術者向け         | 2時間 | —  |
| 機能安全入門コース   | 一般技術者向け★        | 1日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>•安全性と信頼性</li> <li>•なぜ機能安全が重要なのか</li> <li>•規格策定の背景</li> <li>•ISO 26262推進のための取組みとプロセス改善</li> <li>•ISO 26262規格の構造</li> <li>•ISO 26262の各パートの概観</li> </ul> |
|             | 経営者/管理者向け       | 2時間 | —  |
| 機能安全技術者コース  | 全モジュール★         | 5日  | Module2: 機能安全の管理<br>Module3: コンセプトフェーズ<br>Module4: SYSレベルの製品開発<br>生産及び運用<br>Module5: HWレベルの製品開発<br>Module6: SWレベルの製品開発<br>Module7: HWメトリクスの例<br>修了試験※1                                       |
|             | システム技術者モジュール★   | 3日  | Module4を中心としたSYSレベルの製品開発について   |
|             | ハードウェア技術者モジュール★ | 3日  | Module5,7を中心としたHWレベルの製品開発について  |
|             | ソフトウェア技術者モジュール★ | 3日  | Module6を中心としたSWレベルの製品開発について  |
| 機能安全アセッサコース | 全モジュール★         | 4日  | 2013年秋開講予定   |

★のコースを修了した方には、MIRA・JARI共同管理による受講証明番号を付与した受講証明書を発行します。また、技術者コース全モジュールの修了試験※1に合格された方には、MIRA・JARIによる機能安全技術者認定証を発行します。

[WEBからのお問い合わせはこちら](#)

**ITS研究部**

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

日本自動車会館 12階

**一般財団法人日本自動車研究所**

Tel: 03-5733-7925 / Fax: 03-5473-0655

E-mail: fs\_info@jari.or.jp